

週刊大貫のり夫

市政ファイル No.505

日本共産党横浜市会議員大貫のり夫議会報告

発行日：2015年12月16日（水）

事務所：〒227-0061 横浜市青葉区桜台29-6



横浜市第4回議会 白井まさ子議員が一般質問

戦争法で横浜がテロの危険性

安保関連法案いわゆる戦争法について、林市長は9月の定例記者会見で「成立した法案がしっかりと運用され、国としての使命を怠していただきたい」、「今の世界情勢の中で何もしない状況でこのまま待っているというのも違う」

と、賛成の表明に受け取れるような発言をしています。

白井まさ子議員は9日の本会議で、戦争法の成立でアメリカからの協力要請に日本が応えることは、日本国民とりわけノーストックや貯油施設のある横浜市民をテロの危険にさらすことにもなるとして、市長の見解をただしました。

林市長は、国の専権事項という従来の見解を繰り返すとともに、安全保障関連法の成立によって直ちにテロの危険性が高まったとは考えていないと答えました。

（2面に続く）



無料法律相談

1月7・21日(木)

予約制 (大貫)
090-5311-1879

北綱島特別支援学校の閉校はやめよ

(1面より)

肢体不自由特別支援学校の再編整備計画では、重度障害児が通う北綱島特別支援学校(港北区)の児童生徒数増加による教室の狭あい化や特別教室不足を解消するために、同校を2019年に閉校し、新たに作る左近山特別支援学校を含めた他の学校全体に機能を移すとしています。

現在、北綱島特別支援学校には港北区、鶴見区、都筑区、神奈川区の子どもが在籍していますが、同校の閉校に

よって市の北部東部に特別支援学校がなくなります。

白井議員は、「車で片道15分。何度も車を止めて痰を吸引している。他の学校へ行くように言われると、通学距離が伸びるため子どもの負担が大きくなる」という同校に通う中学生のお母さんの話を紹介。「北綱島特別支援学校が閉校となり、教育の場を失うことは大問題。今回の計画で児童生徒の通学条件が後退することはあってはならない」として、教育長の見解をただしました。

岡田教育長は、今回の再編整備計画は県立・市立を含めた全体のバランスを考えたものであり、北綱島特別支援学校の在校生については個々の状況を踏まえて「教育的に望ましい対応」を考えると答えました。

登壇して質問する白井まゆみ議員
12月9日、横浜市本会議場



戦争法廃止 緑・青葉・都筑区連絡会 結成のつどい



と き: 12月19日(土)午後6時半～

と ころ: 青葉区公会堂1・2号会議室

記念講演 白神優理子弁護士

ふるってご参加下さい!

シリーズ『あおば子育て事情』(183)

苛政は虎よりも

江口 寛



「苛政猛虎」（苛政は虎よりも猛し）中学校の国語教科書に載っていた「論語」の話です。

孔子が墓の前で泣いている母親を見かけて、その理由を尋ねると、その母親は、舅（しゅうと）、夫、息子を虎に食い殺されたという。そこで孔子が「なぜ、こんな危ない土地から逃げないのか」と尋ねると、「ここには悪い政治（重税や厳しい刑罰）がないからです」と答えた。孔子は弟子たちに言った。「よく覚えておきなさい。重税と痛みを国民に押しつける政治は虎より酷いものだ」と。

孔子は紀元前5～6世紀の人ですが、時代が下って日本でも奈良時代、口分田を捨てた民衆、平安～江戸時

代、一揆の前に村ごと消え失せる逃散（ちょうさん）がしばしば見られました。

さて現代、消費税10%（軽減税率といっても8%は取られる）、秘密保護法、共謀罪、集団的自衛権行使、徴兵制……。もう、逃げ出したいくなりますね。

いや、その前に国会前もある！

7月には参議院選挙もある！

「アベ政治を許さない」闘いを新年も引き続き頑張りましょう。

あっ、その前に、12月19日青葉公会堂でお会いしましょう。

1年間ご愛読ありがとうございます。2016年中には、このコラムも200回を迎える予定です。明るい話題をお伝えするよう頑張ります。



辺野古に思いを馳せて

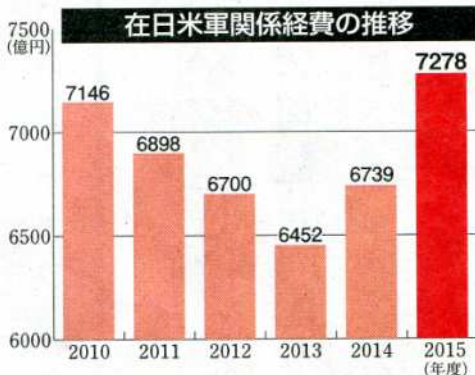
先月末、気温が下がったので室内に入れた八重のハイビスカスが綺麗に咲きました。八重のハイビスカスは珍しい。一見、弱々しいけど、実はたくましい。この花を見るたび、沖縄編辺野古の青い海に思いを馳せます。絶対に新基地をつくらせないとの翁長さんや沖縄県民のみなさんにエールを送り、安倍暴走政治をやめさせると決意を新たにしています。

在日米軍経費 新基地建設などで大幅増 過去最高7278億円

2015年度の在日米軍関係費（思いやり予算を含む）の総額が過去最高の7,278億円に達したことが外務省の資料で判明しました。前年度から539億円増額、もっとも高額だった10年度の7,146億円を132億円も上回っています。

辺野古抗議弾圧に 1日約1,180万円

なぜこんなに増えたのか。その背景には沖縄辺野古への米軍新基地建設費など米軍再編経費の大幅な増額



があります。辺野古新基地建設にかかわる経費は、前年度から約5倍増え271億円となりました。この中には、キャンプシュアブゲート前や海上で抗議活動をしている住民ら数百人を抑えるために、15年度民間警備会社等と2件43億円契約しています。1日あたり約1,180万円ということになります。

辺野古新基地建設は日本が資金を出します。その額は1兆円。すべて国民の税金です。



工事車両が出入りするゲートに立つ民間警備員。後方には警察、米兵の姿も＝沖縄県名護市辺野古の米海兵隊キャンプ・シュワブ前

グラフ・写真は6日付日刊赤旗より転載



ミジンコの独り言 またまた大根ネタ。大根は生産量も消費量も世界の9割が日本だと知って、びっくり。弥生時代には早くも伝来。大きい根だから「大根」、春の七草の「スズシロ」は大根のこと。ちなみに秦野市の「大根」は「おおね」と読む。(M)